



鎌田だより

第6号

江戸川区立鎌田小学校 令和6年9月30日

「まずは自分で根気強く最後まで」

校長 石渡 靖



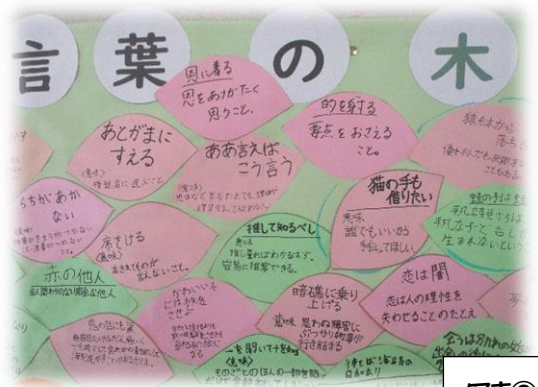
写真①

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよく言ったもので、秋分の日(9月23日)を過ぎて、涼しさが際立ってきました。明けが遅く、暗くなるのも早くなり、秋を感じる季節となりました。

いよいよ10月。4月から始まった子供たちの今の学年での生活も折り返し点を迎えます。「実りの秋」これまででできるようになったことや身に付けてきた好ましい生活習慣などを忘れずに、さらなる成長を期待しています。

さて、本校は今年度、「児童の学力向上を目指した授業改善 ～説明的文章における児童主体の授業を通して～」をテーマに国語科の校内研究を進めています。今年度、すでに3回の校内研究授業を行い、その成果について検証を進めているところです。

1時間(45分間)の授業の中で、問題把握(学習の進め方を確認し、自分のめあてを設定する。)→ 一人読み → ペア・グループ交流・対話 → 全体交流という過程を経て子供たちの深い学びにつなげられるよう授業を変えてきました。写真①は2年生の全文通読の時間です。教科書ではなく全文シートで読み進めます。それは、線を引いたり囲ったり自由に書き込みをしながら読み進めるためです。このような授業を進めることで子供たちは長い文章をまずは自分の力で最後まで読み通す力が育ってきています。



写真②

多くの授業で子供たちは問題把握をした後、10分間、15分間、黙々と問題に取り組みます。その間、教師は机間指導し、助言や学習支援を行います。

また、写真②は学校全体で行っている子供たちの語彙を増やす活動です。語彙を増やすことは子供たちの読解力を高め、豊かな表現活動にもつながります。

学校は学びの場です。質の高い学びを実現することは学校の責務です。子供たちに学ぶ楽しさを感じさせることができるよう、今後も「日常的な取組」や「授業改善」を通して子供たちの学力向上に取り組んでまいります。合言葉は「教師が教える授業」から「子供たちが学ぶ授業」への変換です。